

バイデン政権の中長期財政計画 にみる再分配政策

インフラ、再エネ投資と中間層へのインパクトを念頭に

[吉弘憲介](#)

yoshihiro@andrew.ac.jp



バイデン経済政策の特徴

資源配分政策（インフラ）のグリーン化方針
と大幅な投資増

再分配政策のグランドデザインの変更と量的拡充
（ワークフェアからウェルフェアへの転換）

コロナ禍からの回復でなく「創造的復興」の文脈で主張し計画
（1990年代以降の民主党政権における公共政策より欧州の福祉国家の文脈に近い？）

目次

1. バイデンの経済政策の方針と再分配政策の内容・効果
2. インフラ投資戦略の内容と進捗
3. バイデンプランに関するいくつかの論点

1) バイデンの経済政策の方針と再分配政策の内容・効果

Build Back Better（より良い再構築）の理念

バイデンの選挙戦時からのスローガン

コロナ対策としての経済対策にとどまらず、アメリカが抱える構造的課題を解決する方針

構造的課題とは次の3つ

1. トランプ政権により行われた企業や富裕層偏重の経済政策
2. 多くの家庭が子供を育てることが難しくなっている
3. マイノリティによる経済活動への参加に対するアメリカ社会の「非歓迎」

3つの再構築

1) Made In Americaの再構築

- 製造業のイノベーションを促進
- 海外に流出したサプライチェーンをアメリカ国内に呼び戻す
- 強力な産業基盤と中小企業主導のサプライチェーンを国内に構築
- 待遇の良い組合員資格のある雇用を多数創造

3つの再構築

2) Infrastructureの再構築

- アメリカ国内の経済成長に資する、
道路・橋、エネルギー網、学校、ブロードバンド
ネットワークへの投資を加速させる
- クリーンエネルギー経済を構築し、公平でクリーンな社会により雇用を創出
- 持続可能なインフラ整備により国内での生産性を引き上げ、雇用創出へとつなげる

3つの再構築

3) 家族向けサービスと教育の再構築

- 育児・高齢者/障害者介護への公的資金の拡充
- 家庭や地域に密着した公的ケアサービスの供給環境の整備
- 女性が担わされている家族向けサービス（caregiving responsibilities）の負担を軽減する
- 介護、教育分野の雇用における給与、福利厚生を向上し魅力的な雇用を創出

よりよい再構築にむけた具体的政策パッケージ

American Rescue Plan:

アメリカ救済計画（21年3月可決済み）

American Jobs Plan:

アメリカ雇用計画（部分審議中）

American Families Plan:

アメリカ家族計画（提案中）

各計画の立て付け

- **アメリカ救済計画**：Covid-19による経済的ショックに緊急対応するため、現金給付、社会保障、地方財政等への包括的支援プログラム（10年間で1.8兆ドルを予定）
- **アメリカ雇用計画**：グリーンエネルギー投資、インフラ投資を、主に法人税の引き上げにより財源調達して実施することを目標とする
- **アメリカ家族計画**：救済計画で時限的に実施される児童向け、勤労世帯向け還付付き税額控除の恒久化等を含む提案

アメリカ救済計画 概要

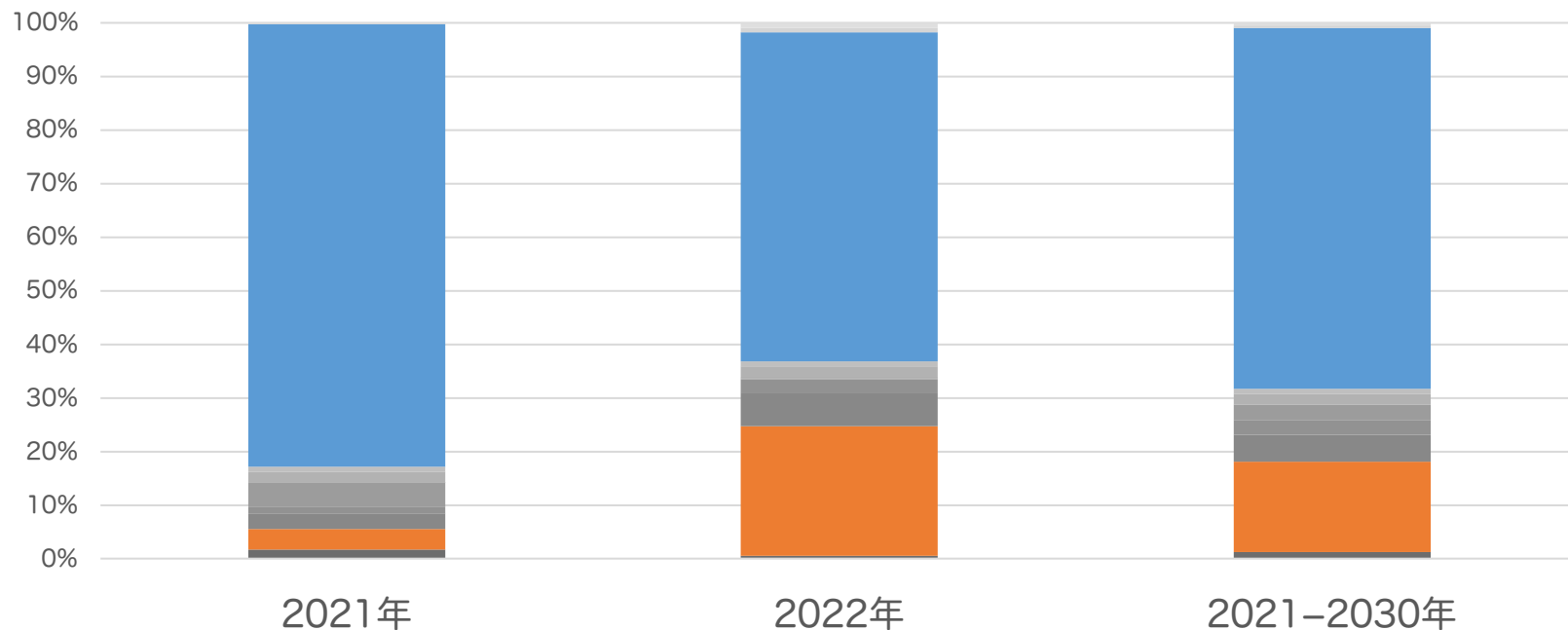
- 2021年2月24日に下院に付され2月27日に下院で可決した（賛成219、反対212、棄権1このうち、賛成票についてはすべて民主党であるが、反対票には2票の民主党が含まれている）
- 同年3月6日に上院を賛成票50、反対票49（共和党議員一名が棄権）で修正付きで可決
- 3月10日に再び下院にふされ、上院での修正内容を含んだ計画について、賛成220、反対211、棄権1で再び可決
- 3月11日に大統領により署名され公法117-2として成立
- 11項目にわかれ1.8兆ドルの支出計画、1300億ドルの減税を実施することを含む

アメリカ救済計画支出構造

約1.1兆ドル

約5千億ドル

約1.8兆ドル



- 農業・食料・林業分野
- 国土安全保障等部門
- 商業・科学・交通部門
- 国外問題関係

- 健康・教育・労働・年金分野
- 中小企業・起業支援部門
- 退役軍人部門
- ネイティブアメリカン関係

- 銀行・住宅・都市問題分野
- 環境・公共事業部門
- 財政（直接給付・税制等）

アメリカ救済計画における主たる支出内容と規模

Recovery Rebate for Individuals（個人への救済現金給付）：個人納税者へ一人あたり1400ドルを給付、総額4020億ドルで計画予算全体の2割以上を占める

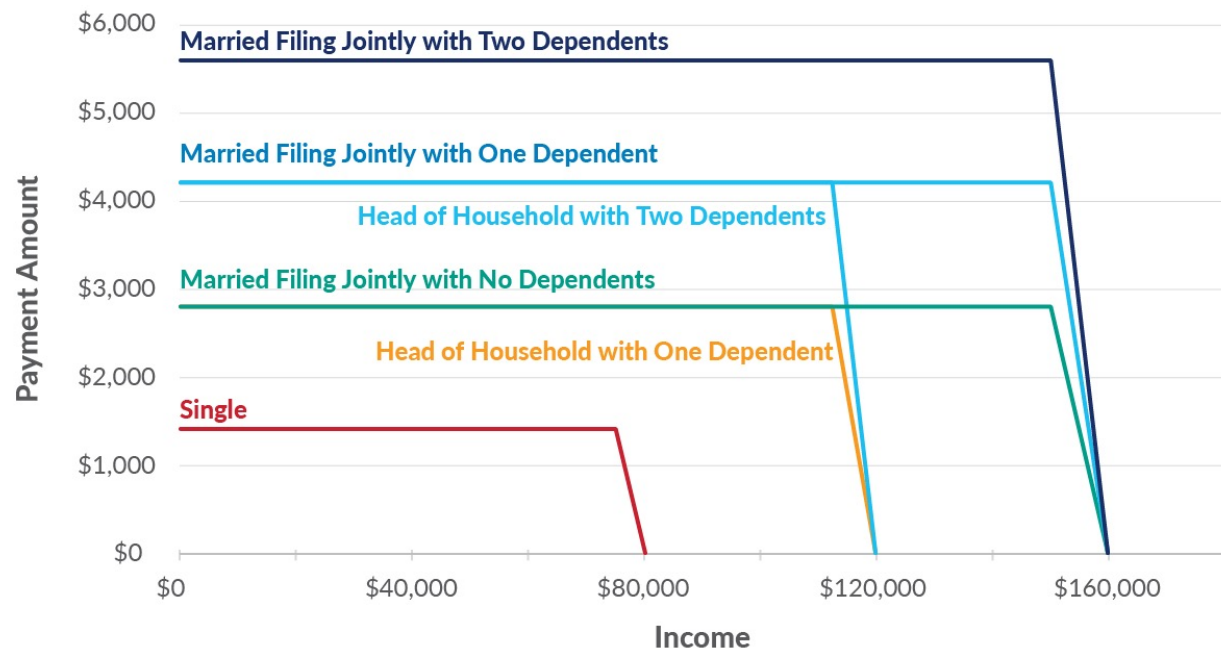
[Coronavirus State and Local Fiscal Recovery Funds](#)（州地方政府に対するコロナ対策財政回復基金）：州地方政府に対してコロナ経済対策、インフラ投資等への財政支援、総額3620.5億ドル

Elementary and Secondary School Emergency Relief Fund（義務教育救済基金）：州地方政府が担う公立義務教育学校への財政支援、総額1228億ドル

低・中間層向けに恩恵、高額所得者は除かれる現金給付

Relief Rebates in Proposed Senate Version of the American Rescue Act

Individual Economic Relief Rebate by Filing Status



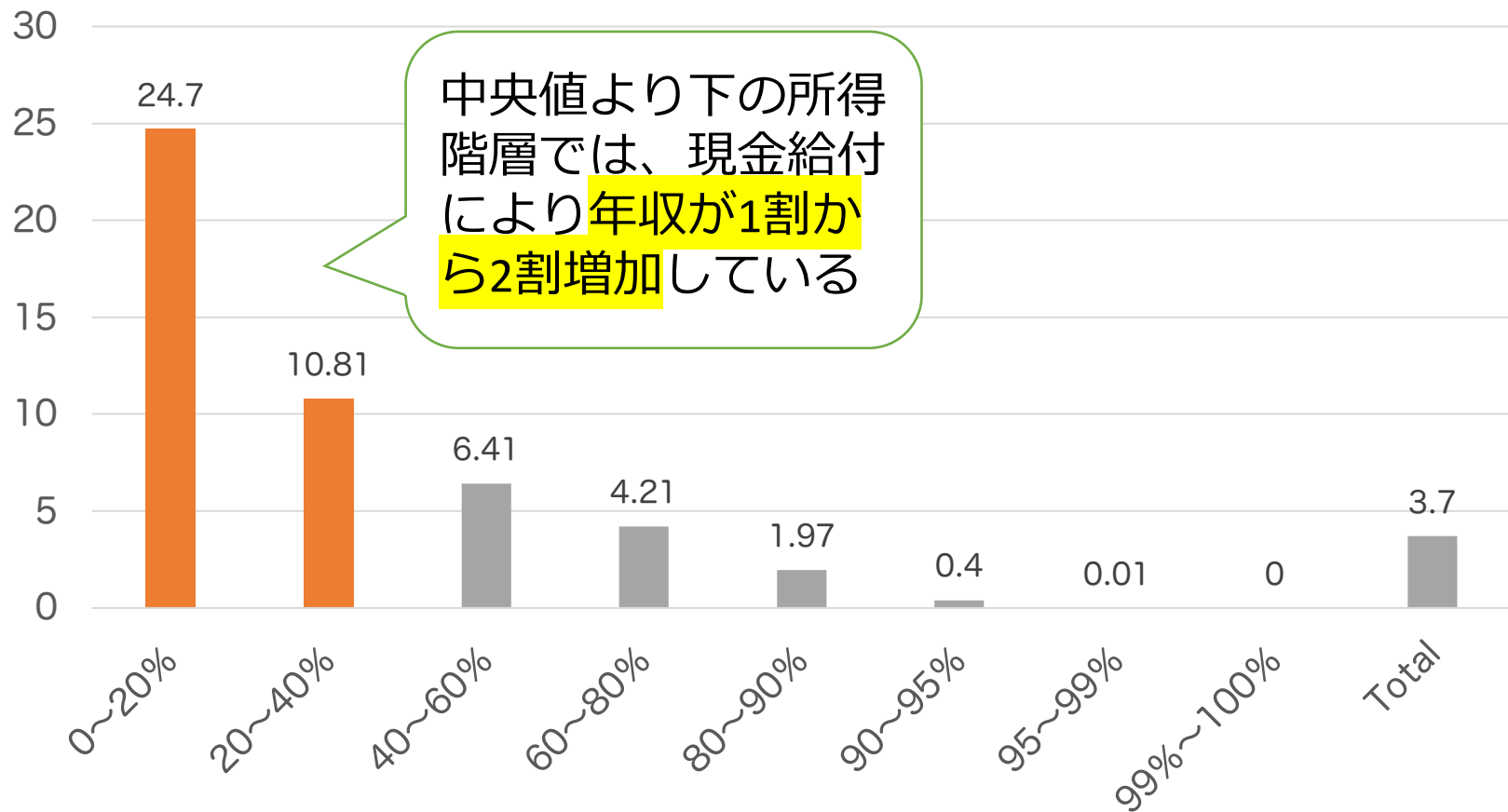
Source: American Rescue Act (Senate Version), Tax Foundation calculations.

TAX FOUNDATION

@TaxFoundation

Source: [Watson, Garrett. 2021](#)

現金給付受け取りによる税引き後所得の変化率（単位：％）



還付付き税額控除の狙いを低所得の若者や、中間層の家族へターゲティング

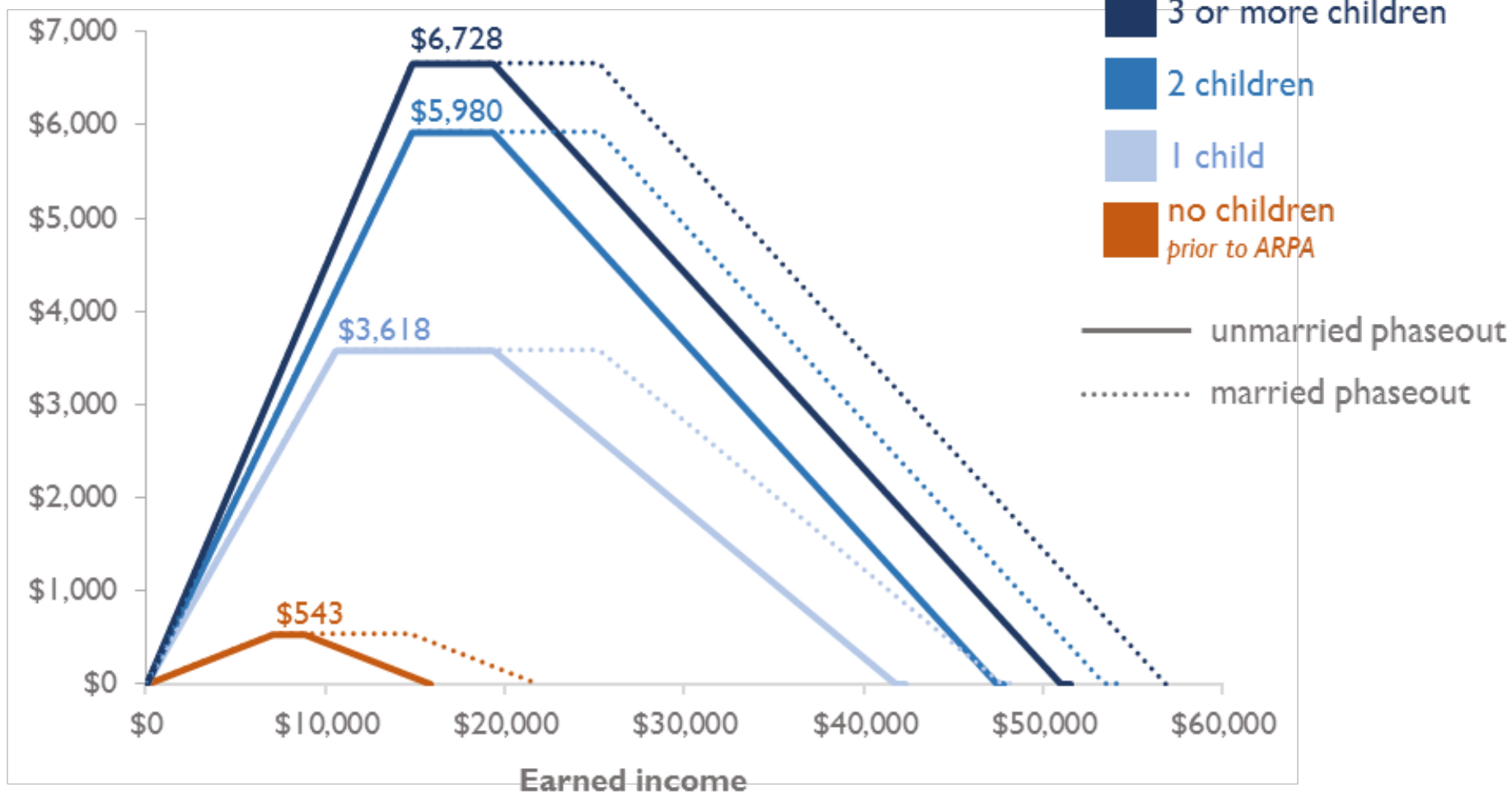
- アメリカではクリントン政権以降、再分配手段として還付付き税額控除（一定の税額控除を設定し、納税額を超える税額控除額を現金として納税者に支給する制度）が積極的に利用されてきた
- バイデン政権下では、アメリカ救済法で時限的に各種の税額控除が拡充されている
- アメリカ家族法はこれらの時限的措置を延長ないし恒久化することを目指している

勤労所得税額控除（Earned Income Tax Credit: EITC）の拡充

- 扶養家族のいない独身の納税者が受け取れる還付可能な税額控除の支給上限額を534ドルから1502ドルに引き上げ
- 支給額が減少する閾値となる所得も8800ドルから11610ドルに引き上げられた
- EITCが適用される年齢を拡大し、19歳以上の労働者は原則として制度の対象となる

EITC Amount by Income for 2021

credit amount (\$)



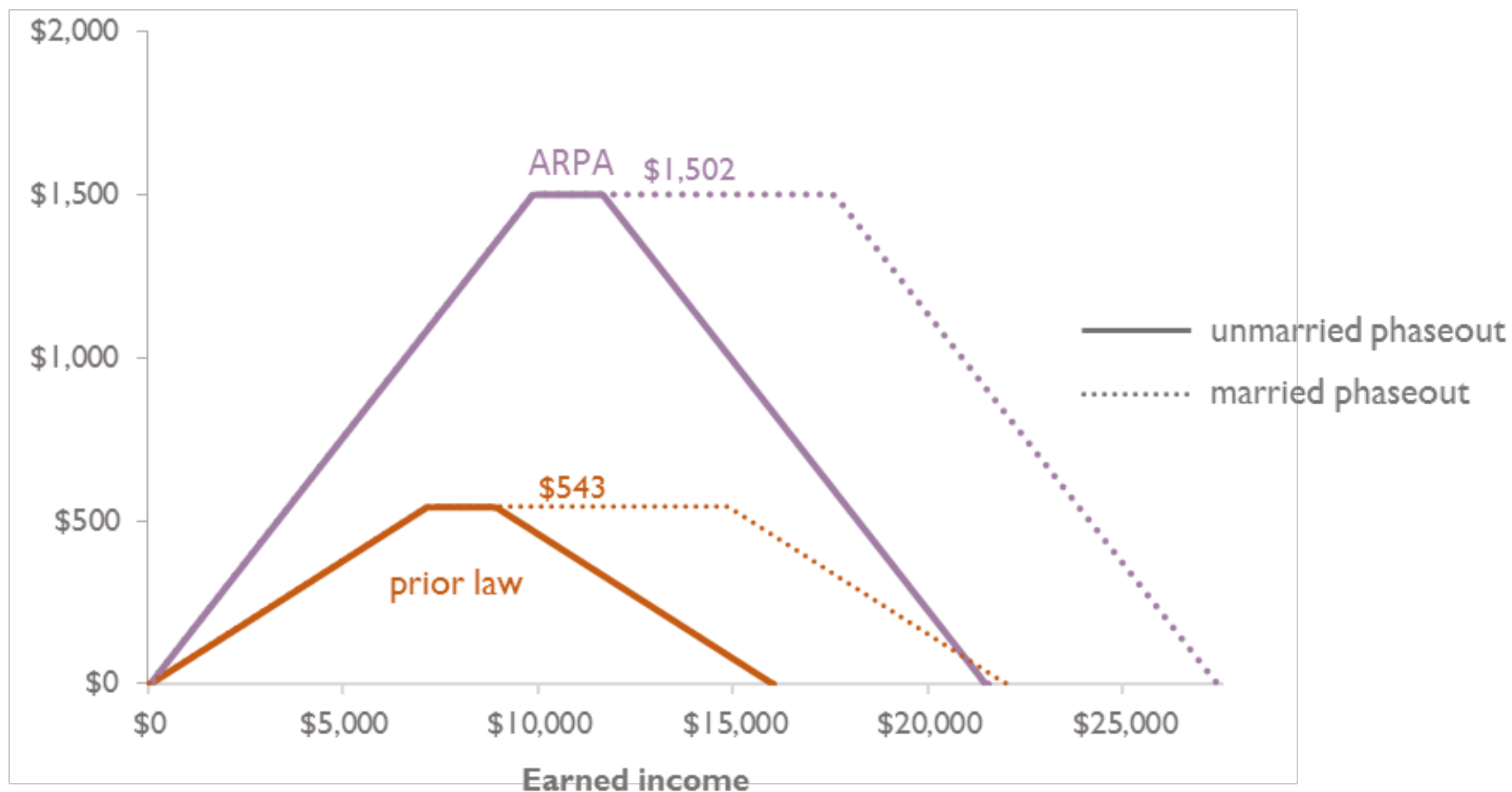
Source: CRS calculations based on IRC §32 and IRS Revenue Procedure 20-45.

[Source](#)

"Childless" EITC Amount by Income for 2021

Prior Law and American Rescue Plan Act of 2021 (ARPA; P.L. 117-2)

credit amount (\$)



Source: CRS calculations based on IRC §32, IRS Revenue Procedure 20-45, and P.L. 117-2.

[Source](#)

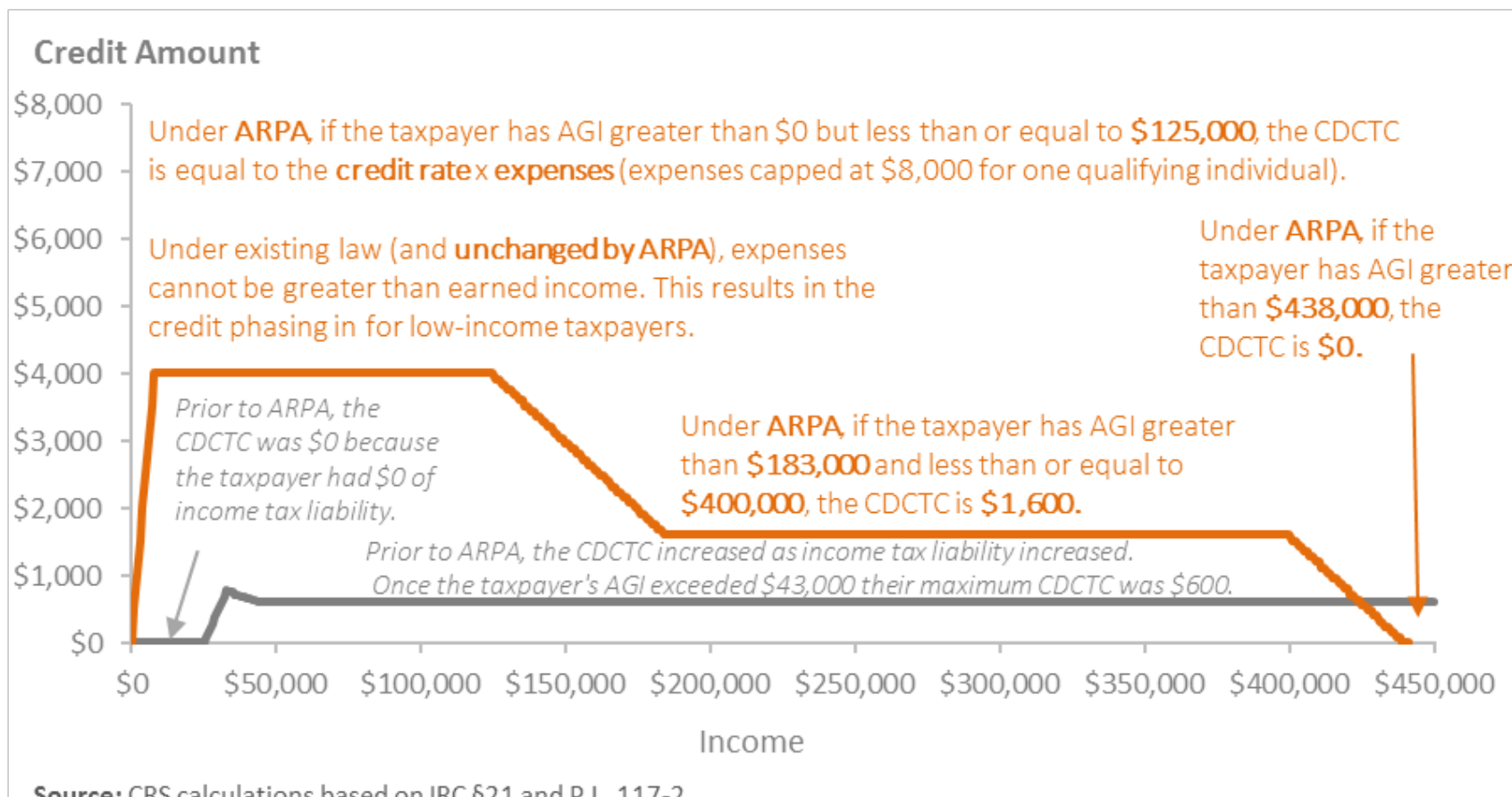
児童扶養税額控除（The Child and Dependent Care Tax Credit）の拡充

- 従来の児童扶養税額控除は、13歳以下の児童扶養により生じた費用（上限あり）に課税所得の増加に従い漸減する参入率を乗じた額を税額控除するもの
- 税額控除の額の上限は600ドル、非還付型で非課税世帯には恩恵のない制度であった

- アメリカ救済法では還付付き税額控除に変更し、支給上限額を子供一人あたり最大4000ドルに引き上げた
- 43万8千ドル以上の所得がある世帯は税額控除がゼロとなるフェーズアウトも組み込まれた

Child and Dependent Care Tax Credit (CDCTC) Amount for 2021

Taxpayer with **One Qualifying Individual** and Maximum Amount of Employment-Related Child and Dependent Care Expenses



Notes: Income is earned income which is assumed to equal adjusted gross income. Taxpayer is assumed to claim the standard deduction and no other tax benefits. The amount of qualifying expenses may not exceed a taxpayer's earned income for the year. For married couples, the amount of qualifying expenses is generally limited by the earned income of the lower-earning spouse. The actual credit amount for low-income married couples will differ from this illustration and will depend on the earned income of the lower-earning spouse.

児童税額控除 (Child Tax Credit) の拡充と児童手当化

- 年収20万ドルまでの家庭で、17歳以下の扶養家族一人につき上限2000ドルの税額控除
- 引ききれない税額控除は上限1400ドルまで還付可能
- ただし、上限まで利用できない層が19%存在した

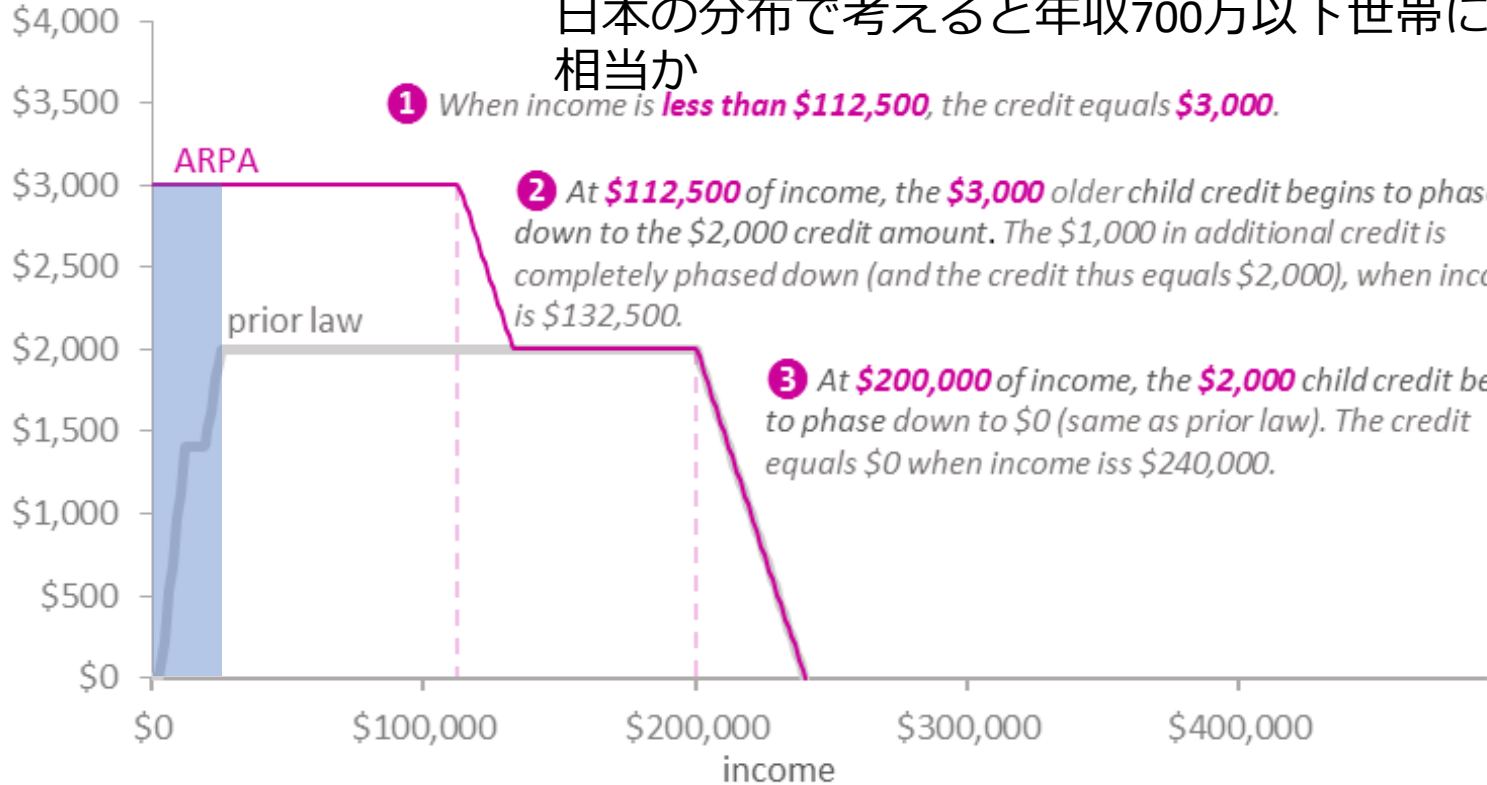
- 労働インセンティブの部分を撤廃
- 控除額を0-5才児一人につき3600ドル
6-17才一人につき3000ドルに引き上げ
- ワークフェア原則を廃し、児童税額控除を低所得者世帯においては事実上、児童手当化している

Child Credit Amount for One Older Child (6-17 Years Old) for 2021

Prior Law and the American Rescue Plan Act of 2021 (ARPA; P.L. 117-2)

Unmarried Taxpayer

credit amount (\$)



青く塗っている所得の段階で、児童手当化が起きている（支給開始は前制度では2500ドルから）
10万ドルまではアメリカ国民のおよそ7割
日本の分布で考えると年収700万以下世帯に概ね相当か

① When income is **less than \$112,500**, the credit equals **\$3,000**.

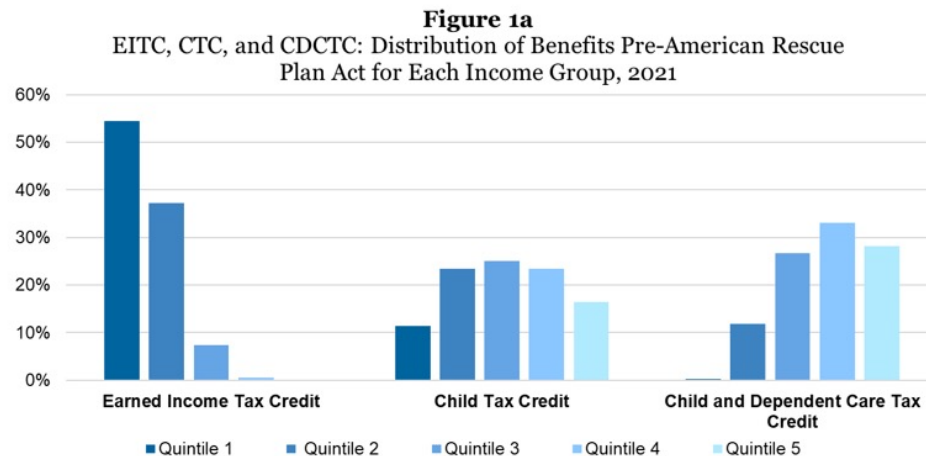
② At **\$112,500** of income, the **\$3,000** older child credit begins to phase down to the **\$2,000** credit amount. The **\$1,000** in additional credit is completely phased down (and the credit thus equals **\$2,000**), when income is **\$132,500**.

③ At **\$200,000** of income, the **\$2,000** child credit begins to phase down to **\$0** (same as prior law). The credit equals **\$0** when income is **\$240,000**.

Source: CRS calculations based on IRC §24 and P.L. 117-2.

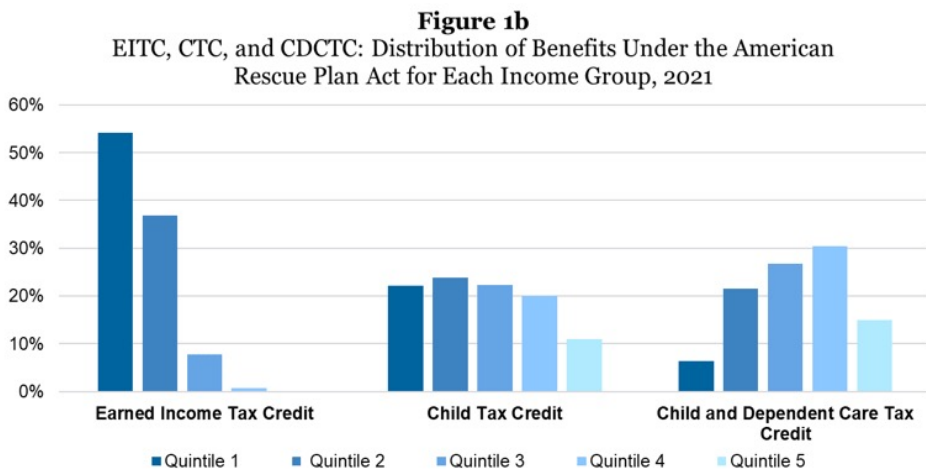
Note: A stylized example assuming the taxpayer has one qualifying child and all income is earned income, with no other sources of income and no above-the-line deductions claimed. Unmarried taxpayers are assumed to file as head of household, married taxpayers are assumed to file joint returns.

- EITCの所得分位内の配分に大きな変化はない
- 児童税額控除は高額所得層への配分が大きく減り、中層より低い所得階層で大幅に配分が増えている
- 児童扶養税額控除も還付可能になった結果、非納税者にも恩恵が及ぶようになっている



Source: Urban-Brookings Tax Policy Center Microsimulation Model (version 0920-1). EITC: T21-0049, CTC: T21-0043, CDCTC: T21-0047
Note: Baseline is pre-ARPA law. Estimates are for all tax units and are adjusted for family size.

BROOKINGS



Source: Urban-Brookings Tax Policy Center Microsimulation Model (version 0920-1). EITC: T21-0055, CTC: T21-0045, CDCTC: T21-0053
Note: Baseline is current law (after the passage of the American Rescue Plan Act). Estimates are for all tax units and are adjusted for family size.

BROOKINGS

子供向け支出の拡充と子供の貧困対策

- EITCにより現役世代に若干の積み増しを行った一方、子供向けの給付は大きく増やしている
- [コロンビア大学の調査](#)では、これらの法律が恒久化すれば、**児童の平均貧困率を45%低下させる**ことが期待される
(13.6→7.5%)
- このほか、アメリカ救済計画では州地方政府に対して保育サービスの拡充のため150億ドルを支出予定→
低所得者家庭が無料で保育を受けられることや、
中間層の保育料負担の軽減を盛り込む
- いわば**「脱家族化」政策による就労支援**という方向性（欧州的福祉国家政策に近い）に進んでいる

18歳未満児童扶養世帯の貧困率の変化予測（単位%）

人種・世帯類型	影響前貧困率	影響後貧困率	削減パーセントポイント	削減率
アジア・パシフィック	12.1	7.6	4.5	37
非ヒスパニック黒人	23.7	11.3	12.4	52.4
ヒスパニック	21.7	11.8	9.9	45.4
複数の人種	11.9	7.3	4.6	38.7
ネイティブアメリカン	16.7	6.4	10.3	61.5
白人	7	4.3	2.7	38.6
シングルペアレント	24.9	14.2	10.7	42.7
ダブルペアレント	7.9	4.1	3.8	48.4
1~2児童	12	8.2	3.8	32.2
3以上児童	16.7	6.3	10.4	62
障害者世帯	22.3	12.1	10.2	45.4

全米州議会会議のホームページ上でUIを利用して州地方政府に対するコロナ対策財政回復基金の使徒が公開されている



ARPA State Fiscal Recovery Fund Allocations

State Fiscal Recovery Fund Categories

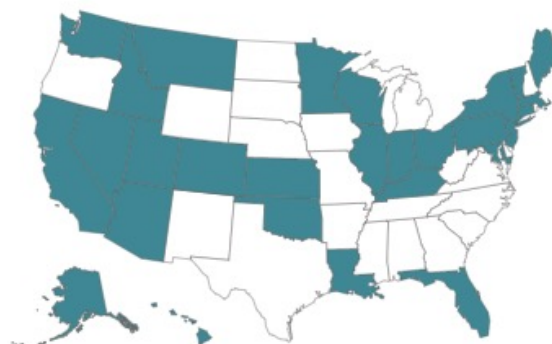
- すべて選択
- Access to Justice
- Arts, Culture and Tourism
- Broadband
- Economic Relief and Development
- Education
- General Infrastructure
- Housing
- Human Services
- Other
- Public Health Response
- Revenue Replacement
- State Operation and Administration
- Unemployment Trust Fund

States

- すべて選択
- Alabama
- Alaska
- Arizona
- Arkansas
- California
- Colorado
- Connecticut
- Delaware
- District of Columbia
- Florida
- Georgia
- Hawaii
- Idaho

Authority

- すべて選択
- Legislative
- Executive



Description Search

Update	Category	State	Authority	Description	Source
7/7/2021	Arts, Culture and Tourism	Alaska	Legislative	\$90 million for grants to tourism and other businesses to offset revenue loss or to respond to COVID-19.	Legislation
7/7/2021	Economic Relief and Development	Alaska	Legislative	\$10 million to fund Alaska Seafood Marketing Institute Trade Promotion.	Legislation
7/7/2021	Economic Relief and Development	Alaska	Legislative	\$20 million for grants to non-profits to offset revenue loss.	Legislation
7/7/2021	Housing	Alaska	Legislative	\$7 million for grants to electric utilities to address delinquent payments due to COVID-19.	Legislation
7/7/2021	Human Services	Alaska	Legislative	\$6 million to the Department of Commerce , Community, and Economic Development and the Department of Fish and Game for food security grants.	Legislation
7/7/2021	Public Health Response	Alaska	Legislative	\$20 million towards responding to and mitigating the risk of a COVID-10 outbreak.	Legislation
7/7/2021	Revenue Replacement	Alaska	Legislative	\$2.1 million for Fiscal Year 2022 revenue replacement for shared fisheries business taxes.	Legislation
7/7/2021	Revenue Replacement	Alaska	Legislative	\$250 million for Fiscal Year 2022 revenue replacement of unrestricted General Funds.	Legislation

アメリカ家族計画 概要

- 現時点で、アメリカ家族計画（American Families Plan）は連邦議会を通過していない
- その一部分はアメリカ救済計画において実施された税額控除の恒久化などを含んでいる
- 高額所得者への増税案を多数含んでおり、歳入中立に近づけることを目指している
- 問題は、[共和党はあらゆる増税に反発しており](#)、増税案の成立は簡単ではないという点である
- アメリカ救済法は基本的に歳出関係のみであり歳入増加策をほとんど含んでいない
- 後述の民主党の独自提案で家族計画の内容が盛り込まれている

2) インフラ投資戦略 の内容と進捗

アメリカ雇用計画

概要

雇用創造、対中政策を意識したインフラ投資計画

人種・性別間の不平等を改善し、[気候変動への対策を重視](#)したインフラ投資の底上げを図ることを目的としている

法人税に対する

1. 税率の引き上げ
2. 国際的な課税逃れに対する取り締まりの強化、により財源を調達

実物投資として

1. 交通インフラの再整備とレジリエンス強化
2. 清潔な水と空気を国民に提供
3. 高速インターネットを全ての国民に
4. グリーンエネルギーを活用するための送電網の整備
5. Affordable(手ごろな)住宅の拡充
6. 学校と公共施設への投資
7. 退役軍人施設への投資
8. メディケイドへの投資

アメリカ雇用計画に関する税制上の措置（歳入関係）

法人税の見直し

- 税率引き上げ（28%）
- 国際ミニマム課税のループホールふさぎ
- 実効税率の低い多国籍企業への課税強化

2021－26での効果
9500億ドルの増収

住宅とインフラの整備

- 住宅整備関連の租税特別措置等

2021－26での効果
133億ドルの減収

クリーンエネルギーへのインセンティブ
再エネ投資に対する投資税額控除

2021－26での効果
1300億ドルの減収

超党派インフラ投資フレームワーク (Bipartisan Infrastructure Framework)

- アメリカ雇用計画の内容を一部含むインフラ投資計画を、バイデン政権は民主共和両党上院議員（10対10）の超党派議員らによる提案として計画
- 議席数が拮抗している上院において議事妨害を阻止する60票を獲得するための構成となっている
- ただし、超党派提案は、既存インフラの整備拡充が重要視されており、アメリカ雇用計画において盛り込まれていた[環境投資の拡充は不十分](#)
- さらにアメリカ雇用計画に上がっていた2兆ドルを超える投資計画を概ね半分にまで下げている

超党派インフラフレームワークの概要

- 高速道路や橋、飛行場、港湾等の物理的インフラの整備拡充計画、スクールバスの電化等事業、電力網の整備等、水インフラ、ブロードバンド、インフラのレジリエンス向上、が対象
- アメリカ雇用計画の縮小版として、上記のプランを含んでいるが、財源計画については法人税増税プランを落としている（予算確保に関しては[ピクシーダストとの批判](#)も）
- 総額は5年間で5790億ドル、8年間で1.2兆ドルの支出計画
- 現在（7月21日時点）で上院で議論中

5790億ドルの超党派インフラフレームワークの主要項目（金額Top5）

道路・橋	109B\$
系統接続設備含む 電力インフラ	73B\$
旅客・貨物鉄道	66B\$
ブロードバンドインフラ	65B\$
水道インフラ	55B\$

超党派フレームワークの歳入 確保見通し案

- メディケアによる支払いの強制削減期間の延長
(2030→2031まで)
- 5G周波数の販売収益
- 戦略的石油備蓄の販売
- 税務行政の強化 (1000億ドルの確保?)
- インフラ投資によるマクロ経済効果

インフラ投資への国民からの支持

- アメリカ世論調査会社の[Gallup Poll](#)がまとめたところでは、アメリカ人の多く（7割、分野によっては9割以上）が物理的なインフラと、社会保障を含むソフトなインフラの両者の供給増に「賛成」を示している
- 気候変動対策に対する危機感も多くの国民が感じており、基礎的な支持が存在する？

民主党側からの動き

- サンダース上院予算委員会委員長を中心に上院民主党はアメリカ家族法、アメリカ雇用計画における「高額所得者と企業への増税」「グリーン関連産業の拡充をねらった投資促進」「社会保障などのソフトなインフラ」を増やすための総額3.5兆ドルの計画を別途に提案
([2021年7月14日](#))
- 今夏に議事妨害を回避するために[Reconciliationとして審議される見通し](#)
- これにはバイデンのアメリカ家族法におけるほぼすべての内容とメディケアの適用範囲の拡充が盛り込まれる模様

民主党提案についての補足

当初、サンダースは総額6兆ドルの予算を準備したが、これは民主党内でも「大きすぎる」との異論がだされる

結果的に3.5兆ドルの予算が企画されているが、ここには、バイデンの「アメリカ家族計画」と「アメリカ雇用計画」のうち超党派フレームワークで落とされた内容に、サンダースによる肝いりのメディケアへの歯科・眼科・耳鼻科での治療を含める提案が含まれている

予算内のトップライン提案は

1. 医療・家族内サービスの有給休暇制度の整備
2. すべての3,4歳児に無料の包括的幼稚保育サービスを提供
3. コミュニティカレッジの無料化、連邦政府奨学金の総額と一人あたり支給額の引き上げ
4. 夏季期間中の低所得世帯児童向け昼食補助サービス ([Summer Electronic Benefit Transfer Program](#))の拡充
5. 1.9兆ドルのCovid景気対策のなかで、自費購入健康保険の保険料引き下げ措置の延長
6. 児童税額控除の引き上げの期間延長

このほか、環境関係への投資（超党派フレームワークで除外されたもの）がこの提案に含まれる

※巨額の予算の調達をどのように実現するかについては依然、議論がなされている

Table T21-0061

Tax Provisions in the Administration's FY2022 Budget Proposal

Baseline: Current Law

Distribution of Federal Tax Change by Expanded Cash Income Percentile, 2022 ¹

Summary Table

Expanded Cash Income Percentile ^{2,3}	Tax Units		Percent Change in After-Tax Income ⁴	Share of Total Federal Tax Change	Average Federal Tax Change (\$)	Average Federal Tax Rate ⁵	
	Number (thousands)	Percent of Total				Change (%) Points)	Under the Proposal
Lowest Quintile	47,290	26.3	4.0	-13.7	-620	-3.9	-0.9
Second Quintile	39,070	21.7	1.8	-12.1	-660	-1.7	6.0
Middle Quintile	36,820	20.5	0.5	-5.8	-340	-0.5	12.8
Fourth Quintile	30,270	16.8	0.1	-1.7	-120	-0.1	16.7
Top Quintile	24,890	13.8	-3.7	132.8	11,450	2.8	27.1
All	179,880	100.0	-1.4	100.0	1,190	1.1	20.2
Addendum							
80-90	12,750	7.1	-0.2	2.5	420	0.2	20.0
90-95	6,230	3.5	-0.8	5.2	1,790	0.6	22.5
95-99	4,760	2.7	-1.3	11.3	5,090	1.0	25.2
Top 1 Percent	1,140	0.6	-11.1	113.8	213,530	7.8	37.6
Top 0.1 Percent	120	0.1	-16.8	86.1	1,564,600	11.7	41.9

Source: Urban-Brookings Tax Policy Center Microsimulation Model (version 0521-1).

Number of AMT Taxpayers (millions). Baseline: 0.2

Proposal: 0.2

(1) Calendar Year. Baseline is the law currently in place as of 8 June 2021. Includes provisions as described in Treasury's General Explanations of the Administration's Fiscal Year 2022 Revenue Proposals (the "Green Book") with the exception of: provisions related to tax compliance, tax administration, and the premium tax credit.

<http://www.taxpolicycenter.org/taxtopics/Baseline-Definitions.cfm>

(2) Includes both filing and non-filing units but excludes those that are dependents of other tax units. Tax units with negative adjusted gross income are excluded from their respective income class but are included in the totals. For a description of expanded cash income, see

<http://www.taxpolicycenter.org/TaxModel/income.cfm>

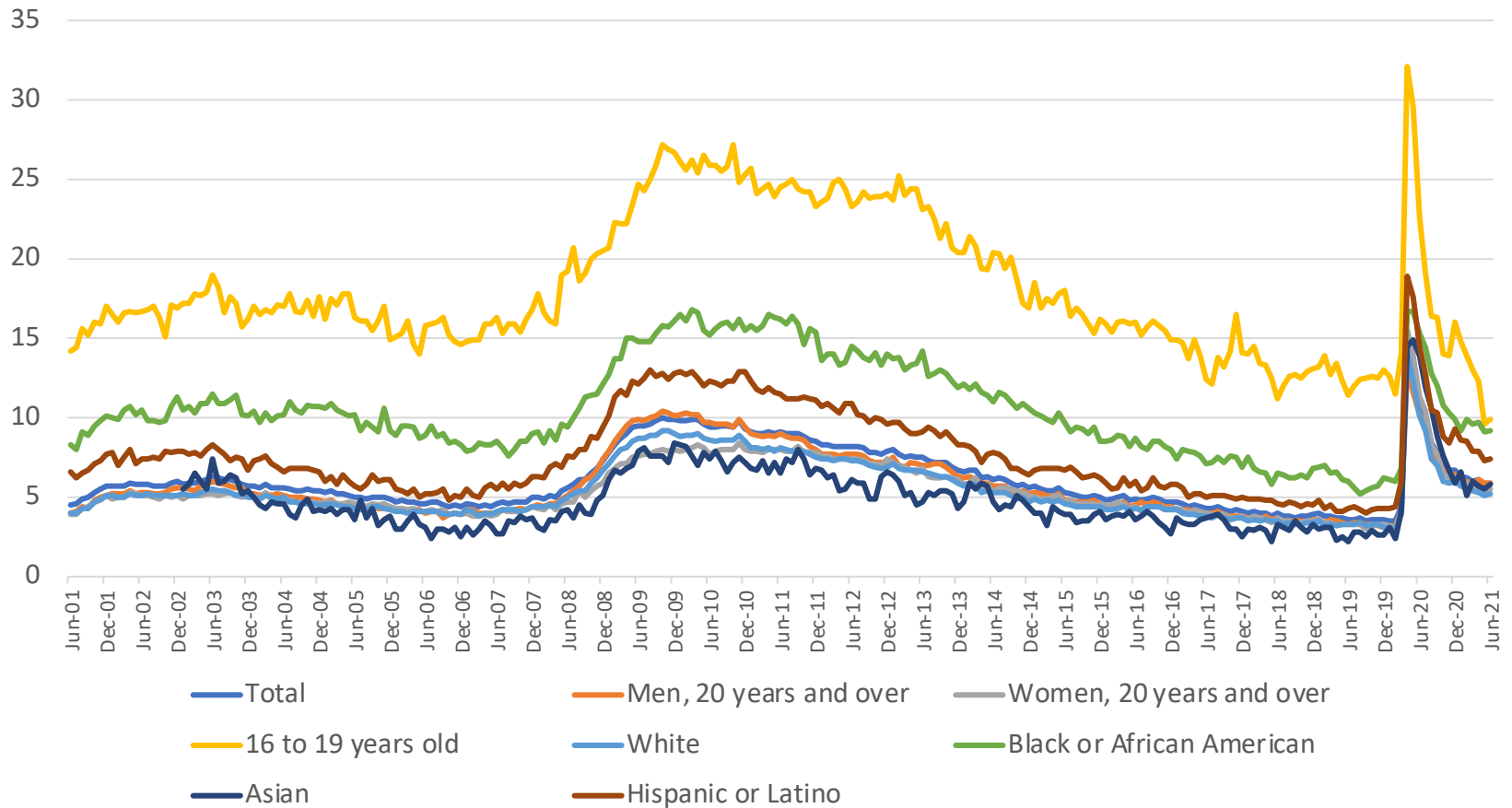
(3) The income percentile classes used in this table are based on the income distribution for the entire population and contain an equal number of people, not tax units. The breaks are (in 2020 dollars): 20% \$25,700; 40% \$51,600; 60% \$91,800; 80% \$165,600; 90% \$243,000; 95% \$343,800; 99% \$817,100; 99.9% \$3,598,700.

(4) After-tax income is expanded cash income less: individual income tax net of refundable credits; corporate income tax; payroll taxes (Social Security and Medicare); estate tax; and excise taxes.

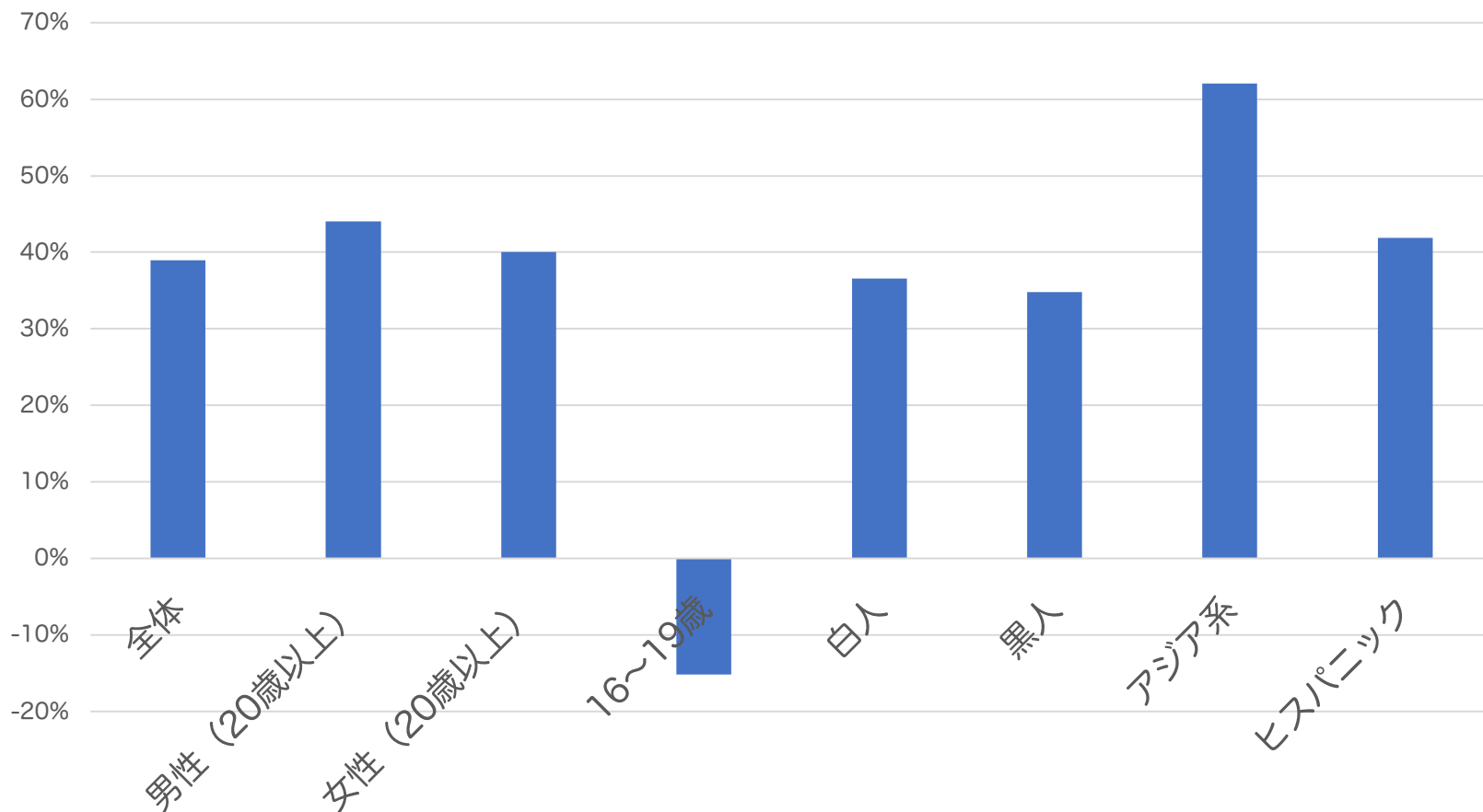
(5) Average federal tax (includes individual and corporate income tax, payroll taxes for Social Security and Medicare, the estate tax, and excise taxes) as a percentage of average expanded cash income.

3) バイデンプランに 関するいくつかの論点

失業率は急激に改善（全体では2021年6月に5.9%まで低下）



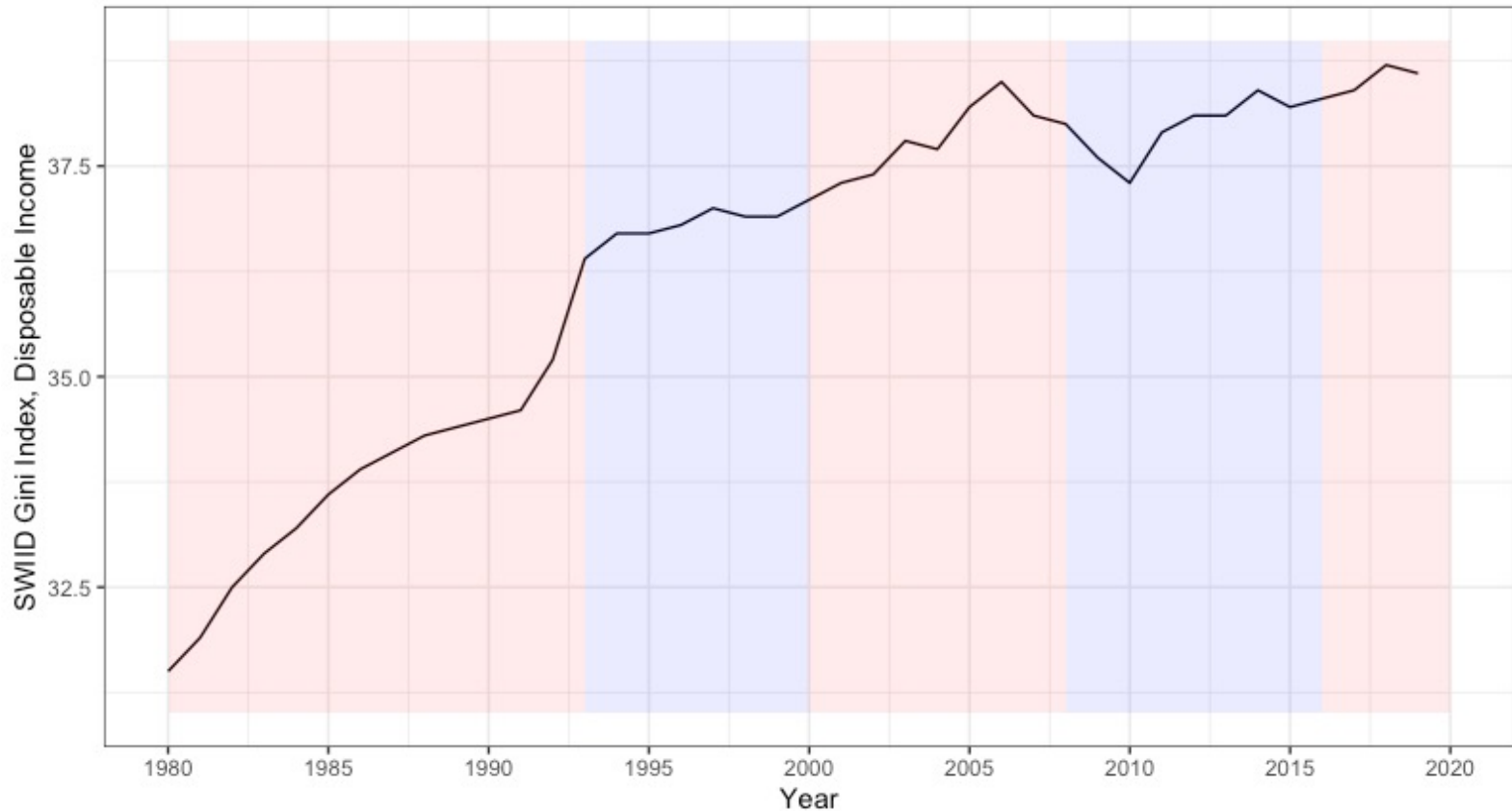
コロナ前との失業率との比較で見ると回復には年齢・人種差が存在



※2019年6月失業率と2021年6月失業率との差分を21年6月の値で除したものの。コロナ前の水準と比べて現状失業率の相対的大きさを表示

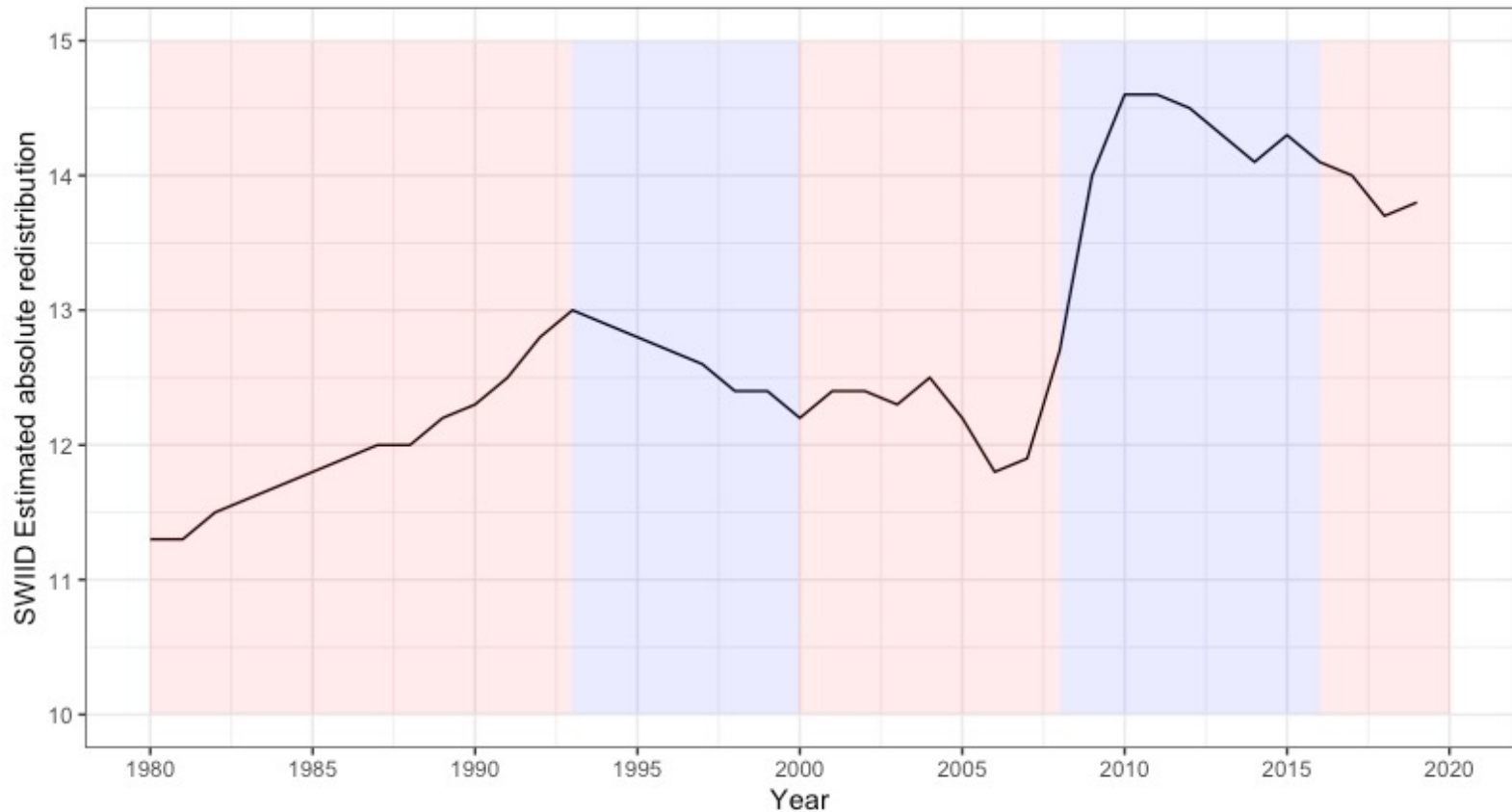
過去40年間のアメリカのジニ係数の変化（共和党政権で格差が開いているように見えるが）

Income Inequality in the United States

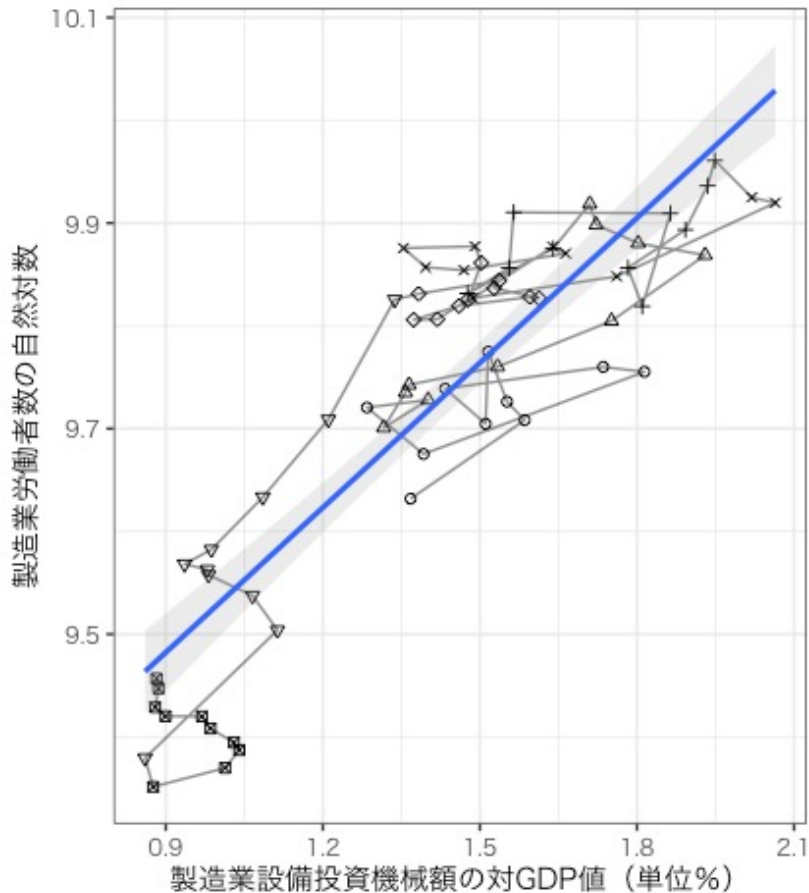


税制と分配の効果を確認すると共和党政権時は税引前の格差の拡大が影響していることが確認できる

Income Inequality in the United States



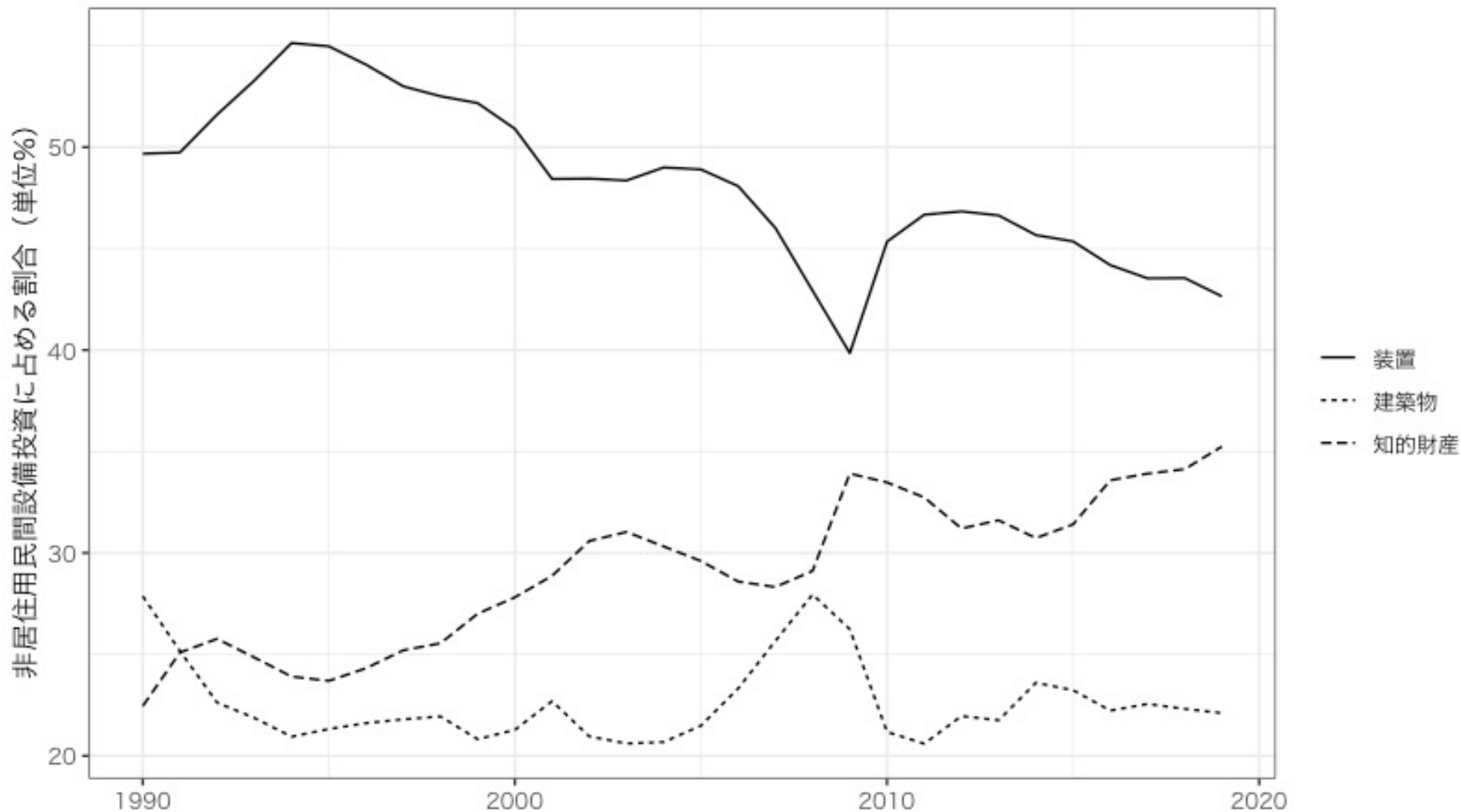
製造業雇用増加は構造的に「茨の道」か？



期間	弾性値	標準偏差	t値	p値	有意水準	調整済み決定係数
全期間	0.65	0.04	17.64	0.000	***	0.82
1950年代	0.23	0.12	1.95	0.087	.	0.24
1960年代	0.51	0.10	5.17	0.001	***	0.74
1970年代	0.25	0.13	1.88	0.097	.	0.22
1980年代	0.14	0.05	2.78	0.024	*	0.43
1990年代	0.14	0.09	1.44	0.189	-	0.11
2000年代	0.79	0.17	4.67	0.002	**	0.70
2010年代	-0.20	0.15	-1.35	0.215	-	0.08

Source: 吉弘憲介 (forthcoming)

アメリカの新規投資は構造的には 資本集約、それも知的財産に変化



製造業はディーセント・ワークたりえるか？

製造業における設備投資と製造業における雇用との間には、長期的には正の相関関係が認められる→また、弾性値は正となり計量的なテストも有意な値を示している

しかし、時間経過を確認すると1970年代までは弾性値が高いものの、それ以降は下落、2000年代には一時的に負にまで低下する（ただし、計量的には有意な数字とならない）

こうした状況の背景には、かつてのように製造業が低熟練労働者のためのディーセント・ワークの地位を投げ捨てたことにも起因する。

さしあたり、[次の発言](#)を引用しておく

「この30年間で製造業で起こっていることの一つは、「誰が製造業の労働者であるか」の定義が根本的に変わってきているということである。

一つの例を挙げよう。私の出身地はイリノイ州のモスビルという町で、そこにはキャタピラー社の工場が多くある。実際、モスビルに住む人の90%がキャタピラー社で働いている。私の友人の中には、彼の生涯の目標が、父親が勤めていたキャタピラー社で板金工として働くことだった人がいる。最終的に彼は38歳でそれを達成した。彼はキャタピラーの板金工になった。しかし、その方法は、結局、2つの学士号とエンジニアリングの学位を取得し、シックスシグマ（モトローラによる品質管理手法）の認定を受けなければならなかった。

父親の仕事を引き継いだ時には、ネクタイをしなければならず、オフィスでパソコンの前にいた。ブルーカラーの仕事がホワイトカラーの仕事になっていたのである。このような移行は、実際には素晴らしいサクセスストーリーであり、私たちはそれを認識する必要がある。ここ数年、製造業には多くの変化があったが、その中にはこのような、良いものもあった。」（Brannon, 2012）

バイデンの目指すビジョン →Re. Great Transformation?

- [カール・ポラニー\(1944\)](#)が指摘した19世紀の国際取引による「平和」→経済的取引がサプライチェーンを通じて帝国主義国家間の緊張緩和として機能したとの主張
- 大転換（Great Transformation）は基軸通貨の動揺を中心に国家間取引が崩れる中、国家間対立の目を作り出したことを指摘
- 米中の緊密なサプライチェーンはこの現代版安定装置ともいえる
- バイデンは中間層の所得増加、中小企業政策、対中政策をセットとしてアメリカ内に強固な製造業（特に[燃料電池など今後の産業の核となる製品を重視](#)）の再建を目指している
- 対中国を無視できる生産基盤の確率は、国際的な緊張関係の高まりを想起させる

ポラニー 『大転換』 「第1部 国際システム」

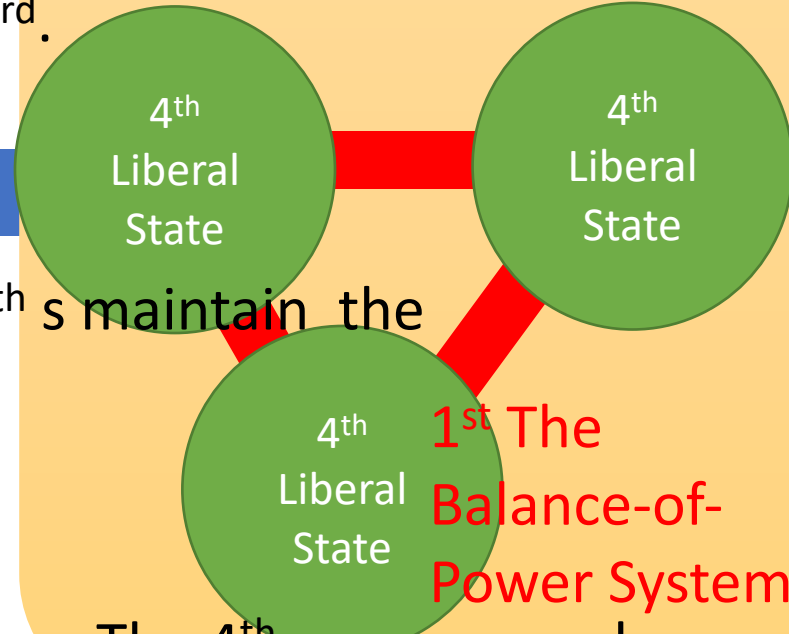
- 19世紀の自己調整市場を維持し強化し合うことで成立した「平和の100年」の構造
- その不安定化の原因の一つとして、価値評価の制度 = 通貨システム = 金本位制度の動揺（2章のテーマ）
- 19世紀の秩序の安定→ここから利益をまず得ていたのは大金融家たち→彼らの関心と「平和」（国際秩序の維持）→アメリカと中国のグローバルサプライチェーンによる貿易市場にも読み替えられる（それを分断することは平和をおびやかす）
- 19世紀秩序の崩壊はバランス・オブ・パワーの喪失から始まり、その再建は20世紀に早々に放棄される、しかし、各国はむしろ19世紀安定システムの再起動に注力する→ジュネーブ体制（国際連盟）

3rd 自己調整市場

The 3rd requires the 2nd.

2nd 國際的金本位制度

The 4th s make to deal with each other in the rule of the 3rd.



The 4th s maintain the 2nd.

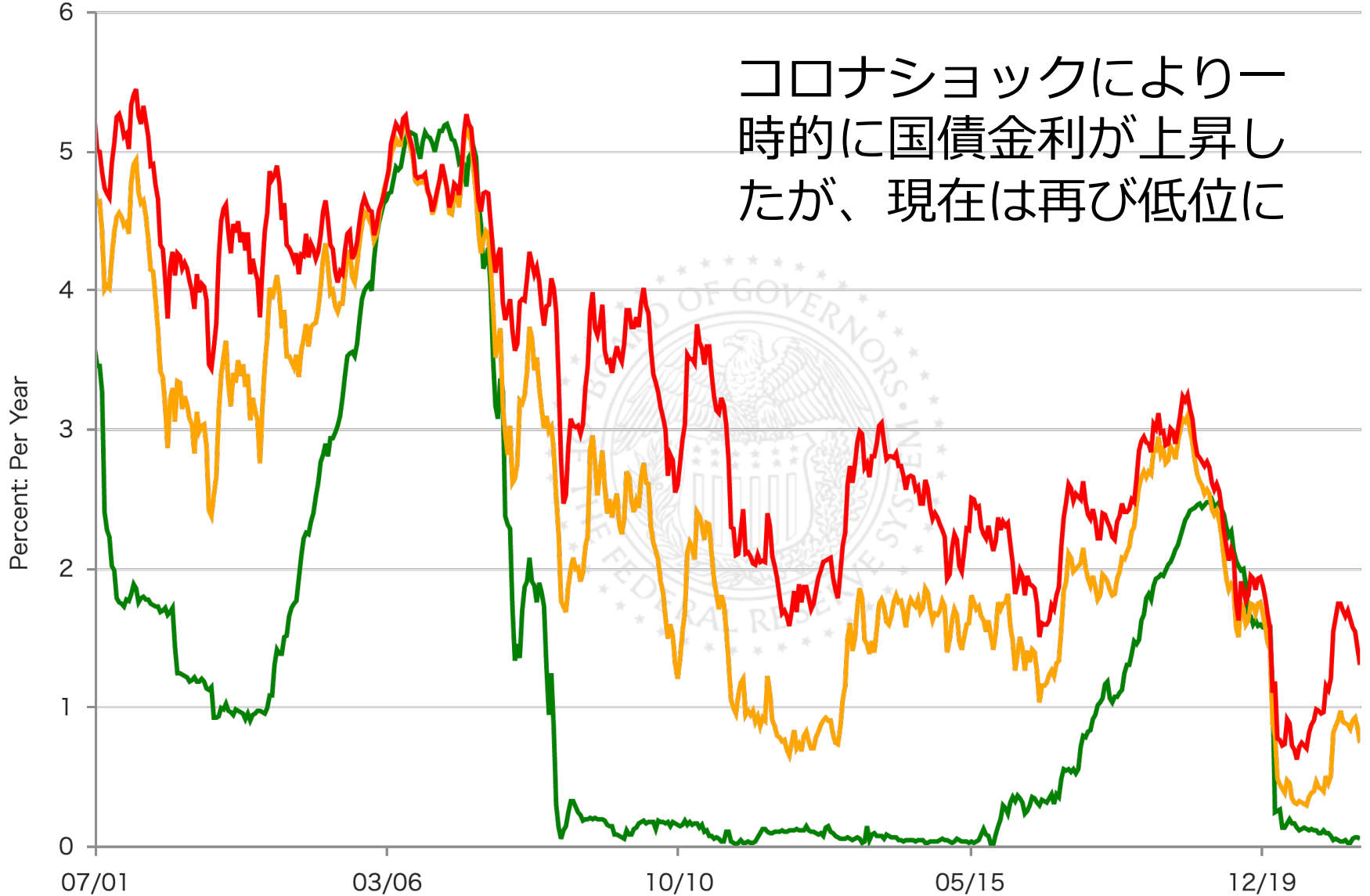
The 4th s govern each other by 1st.

- 10-year Treasury constant maturity
- 5-year Treasury constant maturity
- 3-month Treasury constant maturity

(H15/H15/RIFLGFCY10_N.B 7/22/2021)

(H15/H15/RIFLGFCY05_N.B 7/22/2021)

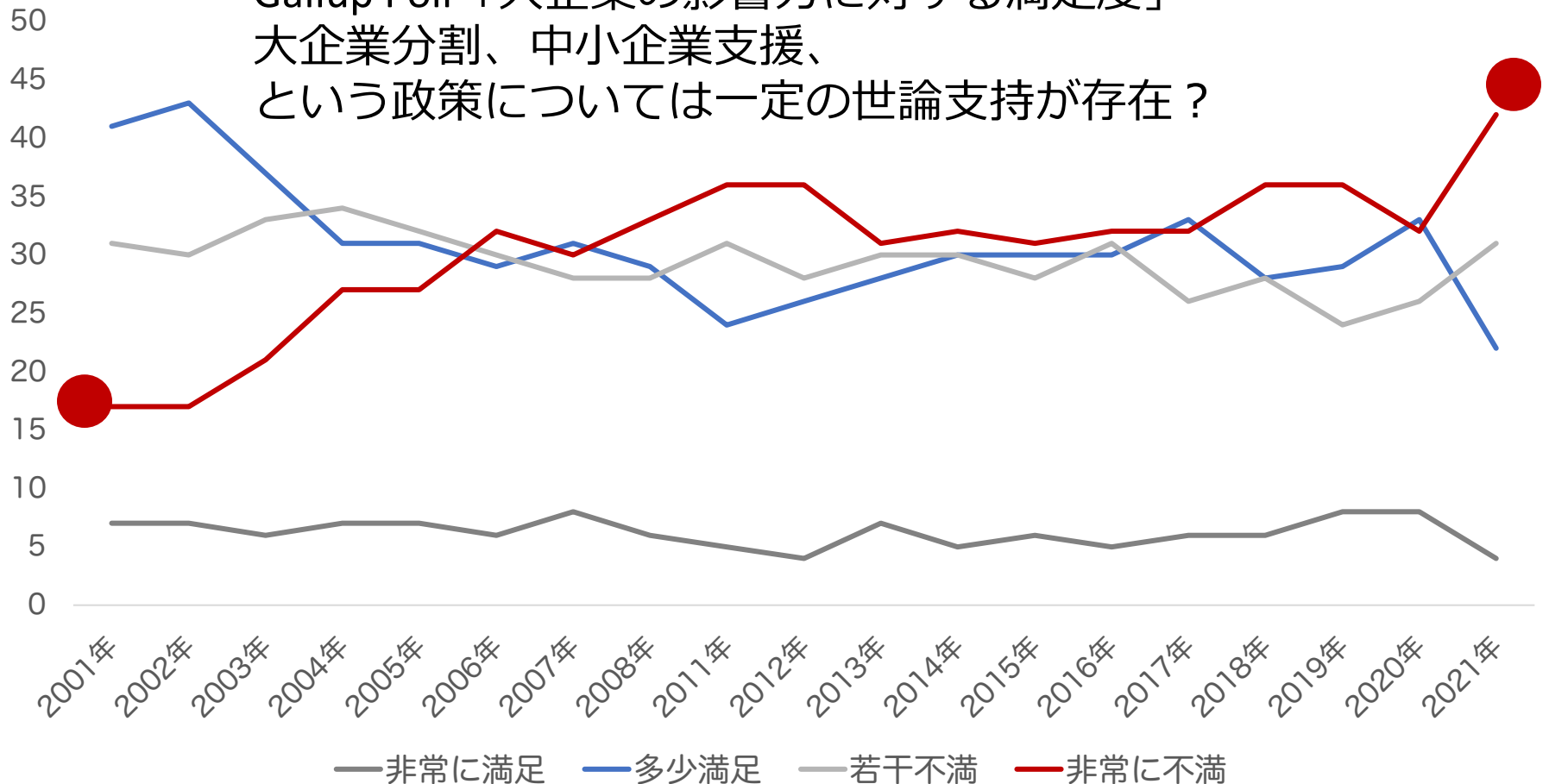
(H15/H15/RIFLGFCM03_N.B 7/22/2021)



Source: Federal Reserve Board 2021

大企業への影響に対しては、世論からの支持が薄れつつある

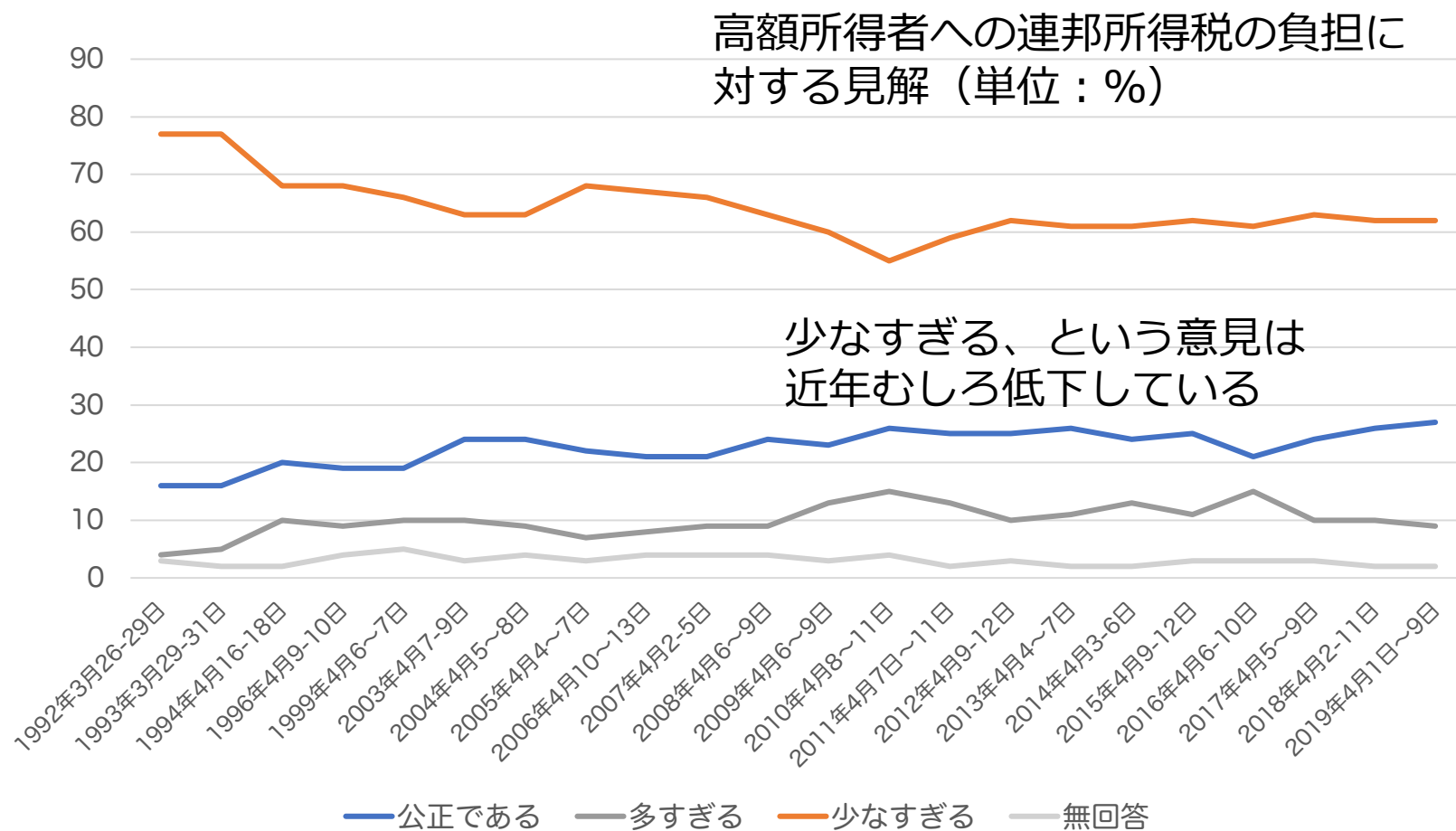
Gallup Poll 「大企業の影響力に対する満足度」
大企業分割、中小企業支援、
という政策については一定の世論支持が存在？



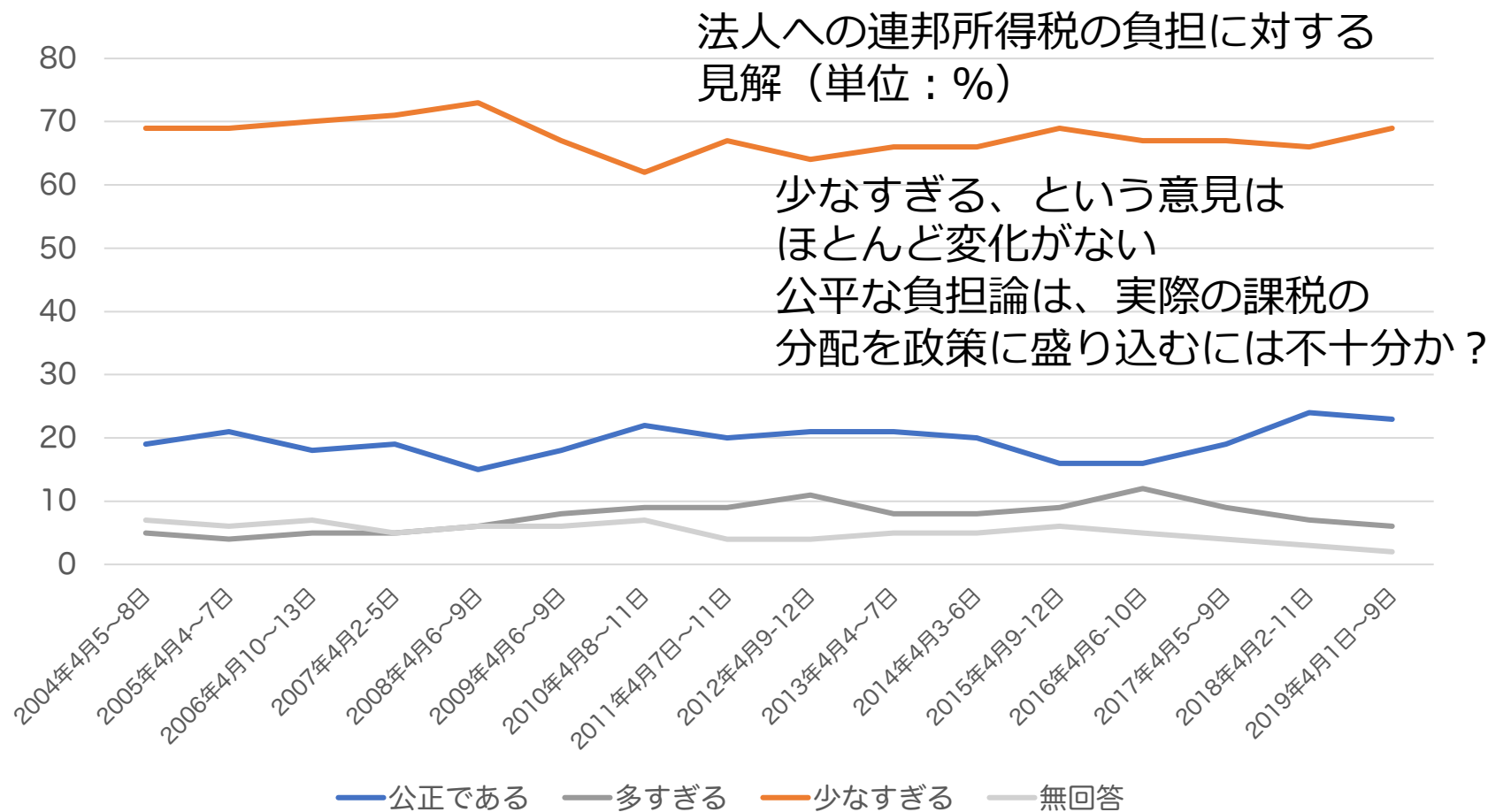
Covid-19は新しい「補償論的な高額所得者負担」を生み出しているか？

- [シェーブ, スタサヴェージ \(2016=2018\) 『金持ち課税』](#)によれば、高額所得者への課税は、高額所得者が「特権的地位」にあり大多数の人々がそのリスクを一方向的に背負わされているときに高まるとされる
→「補償論」
- コロナ禍において、アメリカではエッセンシャルワーカーや医療関係者が感染リスクや不安定な経済状況に一方向的にさらされていることに対して、compensation（補償）として時給引き上げを公的に支援することを行った
- 国家が行う行動が、一部の人にだけ特権的な利益を与える場合、多くの人々は、それまでと水準の異なる補償的増税への同意を強めるとされる
- コロナにより生まれた構造的問題はそれ以前の構造的問題と地続きであるが、危機が分配のあり方を大きく変更する時に上記の補償論は多くの示唆を含む

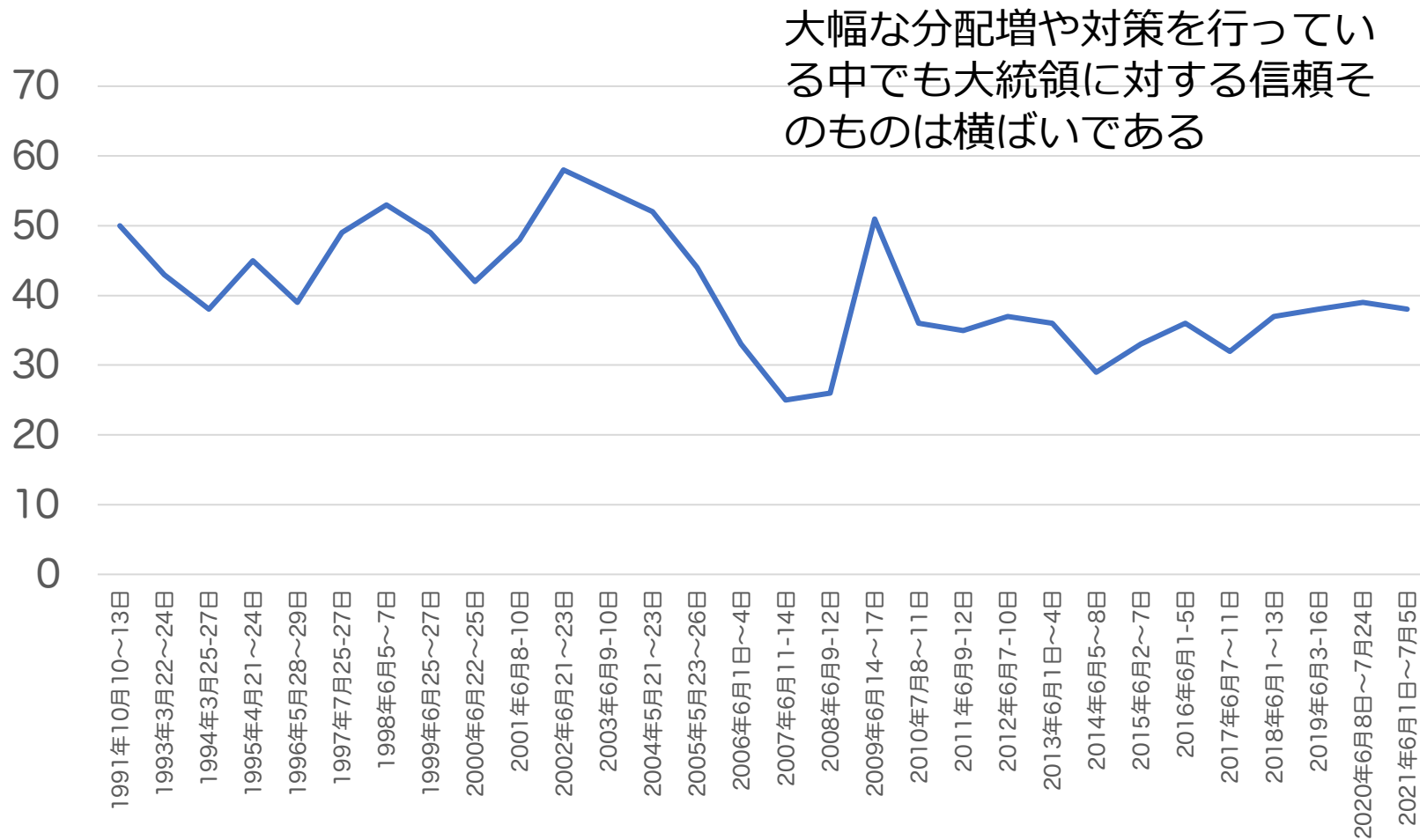
課税の公平な負担、に関する 議論との「不整合」 (1)



課税の公平な負担、に関する 議論との「不整合」 (2)

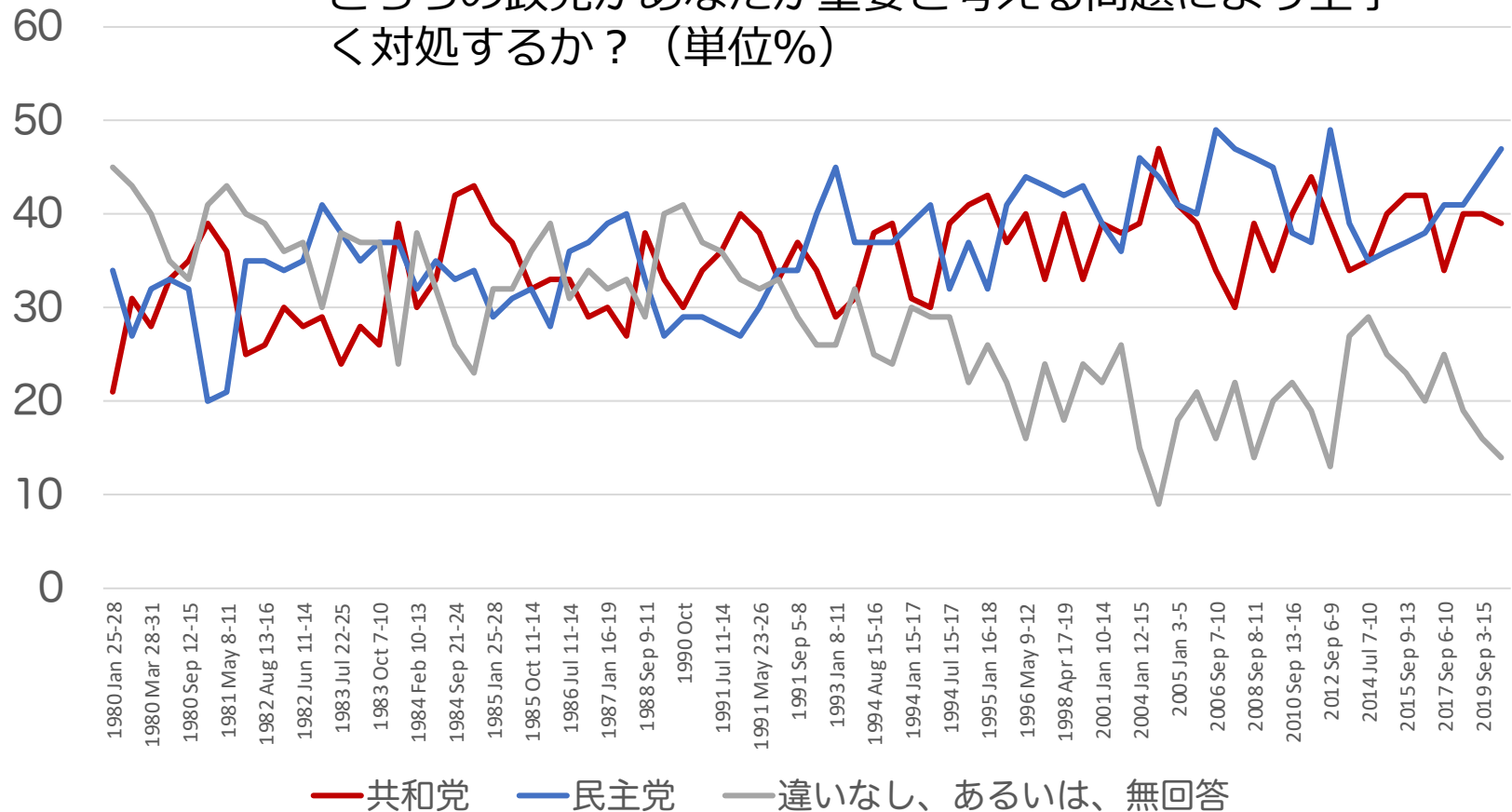


大統領に対する信頼度



近年、民主党に対する信頼性は上昇しつつあるが、二極化は続く

どちらの政党があなたが重要と考える問題により上手く対処するか？（単位%）



バイデンの中長期政策に関する小括

- 再分配政策を再構築する際に、子供子育て世代への強い集中→この分野においてはワークフェアを撤廃する方針を組み合わせている
- インフラ投資計画は2つ以上の法案において議論される方向性→アメリカの「生産力」の強化とグリーンエネルギーを組み合わせた戦略（経済の国内回帰の強調）
- 財源に関しては継続して議論されるが、負担のほとんどは所得階層上、上位0.1%に集中
- 再分配とインフラ投資の「再構築」
- ただし、製造業雇用の再建はそれほど簡単ではない、同時に、アメリカのサプライチェーンの戦略的再建は国際的な緊張関係を高めるかもしれない
- 再分配を高めるための「新たな補償論」の必要性があるのではないか→租税の公平性のみでは再分配のグランドデザインは変化しない？